



問 町の観光について

答 道の駅と中の島公園等の施設を結ぶ観光ルート化を進めていく

現在、全国の自治体の多くは、人口減少にあえいでいる。この人口減少問題を解決するには魅力あるまちづくり、町の活性化が喫緊の課題であるが。

問 去る4月7日竣工した「情報・防災ステーションごか」の年間利用人数の予測について伺う。

産業課長 具体的な人数の予測は立てていない。意見箱を設置し、利用者の増加に役立てたい。

問 道の駅に対して「情報・防災ステーションごか」を「川の

駅」と位置づけるという考えについて伺う。

町長 広域交流拠点整備事業がそういう名目で河川利用情報発信施設、つまり、川の駅という名称の事業がある。

問 道の駅から中の島公園までを観光ルート化すると言われたが、どのような構想があるのか。

産業課長 「いばらきヘルスロード」として茨城県が指定している。今後、サイクリングコースの公開を計画している。さら

に、平成31年開催予定のいきいき茨城ゆめ国体のウォーキングコースで利用が予定されている。



道の駅から中の島公園に向かう町道5号線

問 総合運動公園予定地の整備について

答 観光資源としての活用を検討・検証していく

問 総合運動公園予定地の整備構想について伺う。

政策財務課長 平成27年度には地方創生を柱とした有識者会議を立ち上げ、以降、町内状況の把握・検討、今年5月には有識者会議と庁内のグループリーダー級で構成するワーキングチームとの合同会議を行い、観光資源化というテーマで提案されており、今後、協議・検討していく。

問 総合運動公園予定地と強化堤防の広大なのり面に植栽をして一大観光拠点とし、町内外の多くの人々を町に呼び込めると思うが、その考えについて伺う。

町長 五霞町・境町・野田市の3市町で構成している「川のまちネットワーク」で、利根川・江戸川の河川空間を観光資源として相互利用できるように、今後いろいろ検討していきたい。

また、ご指摘があるように人口減少にどう対応していくかが私は最終的な部分であろうと思うので、五霞町の知名度を上げるためにも観光名所を創造し、定住化につなげ

ていく。それを基本にしていかないと人口減少対策にならない。今後、それらを含めて、いかに人口減少を解消していくか。それらの方策も含めて一緒に進めさせていただく。



強化堤防の広大なのり面(山王山から小福田方面)